

2020年度事業計画書

2019年4月1日～2020年3月31日

特定非営利活動法人 こども∞感ばにー

1 事業実施の方針

昨年度は地域や民間団体との連携・協働（渡中学区WWIや石巻のプレーパークと子ども遊びを考える会、多様な学びを共につくる・みやぎネットワーク）により、本会の理念「子どもの笑顔が地域のなかで育まれるまちに」の実現に近づけた年であった。

今年度も連携・協働に力を入れ、子どもの遊びや居場所に関する社会課題に向き合い、石巻のプレーパークと子ども遊びを考える会では、まちづくり懇談会を通じて“移動式プレーパーク事業と放課後子ども教室の一体型居場所づくり”の提案や、多様な学びを共につくる・みやぎネットワークでは、県議会議員と協働で、不登校課題について学び合い、不登校児童生徒の居場所の充実を図っていく。このように、今年度も連携体制をさらに深め「石巻市」と「宮城県」協働で取り組むための体制を構築する。

プレーパーク事業では、地域住民とともに子どもが安心して過ごせる遊びと居場所を保障する環境づくりに努め、主体的にかかわる地域住民を増やし、また、フリースクール事業では、家庭に課題を抱える不登校児童生徒への対応のスキル向上を図り、学校との連携を深めることで石巻市内の不登校児童生徒ゼロに向けて活動を遂行する。

組織運営では、スタッフ全員で現事業の基盤強化に努め、認定NPO法人化を行い、次年度の資金調達体制を構築する。

《重点目標》

●プレーパークのモデル化と発信

プレーパークわたの（2020年4月1日改名）は常設、鹿妻プレーパークは移動式のあそび場のモデル化を図り、子どもの遊びと居場所の必要性を石巻から全国に発信していく。

●石巻市内に子どもの居場所を増やすための取り組み

石巻のプレーパークと子ども遊びを考える会は、2027年までに「1中学校地区に1か所の居場所設置」目標に掲げ、住民の意識調査や行政との意見交換会などおこうとともに、住民主体のプレーパーク開設サポートをおこなう。

また、本会としても2か所のプレーパーク開設サポートにより、年度内に住民主体のプレーパークを3か所誕生させる。

●不登校児童生徒の居場所に関する取り組み

不登校率が全国一位の宮城県（石巻市も割合は上位）と、247名の石巻市の不登校児童生徒の居場所事業に関する取り組みを、行政と協働で構築する。

宮城県とは、多様な学びを共に考える・みやぎネットワーク（県内6団体で構成）として、県教委や県議会議員と協働で取り組み、石巻市とは、市内の民間フリースクールと連携し行政との取り組みを始める。

«事業»

①すべての子どものための居場所（あそび場）に関する事業

◆プレーパーク事業

○プレーパークわたのは（旧黄金浜ちびっこあそび場）

【目 標】

子どもの遊びの幅を広げ、子どものやりたいことを保障し、居場所としての機能を充実させるためにスタッフのスキル向上を図る。また、プレーパークでの子どもの見守りや環境整備に関わる地域住民（高校生以上）や定期ボランティアを増やす

- ・開催予定回数 145回
- ・来所人数 子ども延3,000名、大人1,500名、 合計 延4,500人

【事業内容】

- ・地域住民と協働で管理していく体制づくり
住民プレイワーカーの育成事業/ボランティア受け入れ体制づくり
- ・環境整備
資材庫づくり/自転車発電機小屋づくり
- ・地域連携
教育機関との情報交換・共有 各校年6回程度

○鹿妻プレーパーク“ひがこー”

【目 標】

子どもの保護者とともに遊びの環境をつくり、地域(自治会)と連携しながら運営体制を構築する。子どもの遊びと居場所の必要性を地域住民に伝え、プレーパークの協力者を増やす。

- ・開催数 50回
- ・来所人数 子ども延1,500名、大人延375名 合計 延1,875名

【事業内容】

- ・イベント 夏季、冬季に一日プレーパーク実施（7月24日、12月25日）
- ・地域住民と子どもへの広報活動（会報誌、パンフレット、ひがこー新聞 700部）
- ・物置を設置し、遊具やかまどの保管場所をつくる
- ・地域住民(鹿妻南第2地区)とプレーパークの子どもの交流イベント
- ・鹿妻小学校「農村クラブ」講師派遣5回

○新規プレーパーク開設サポート

【目 標】

市内に住民主体のプレーパークを増やすために、開設を希望する地域住民のサポートを行い、今年度末には、住民だけでプレーパークが実施できている

- ・開催地と開催数 沢田地区 6回
牡鹿地区 9回
- ・来所人数 沢田地区 参加数：延べ80名

牡鹿地区 参加数：延べ120名

【事業内容】

- ・体制づくり、フィールド調査、リスク管理講習、プレイワーク講習の実施
- ・あそび場の必要性についての意識調査

◆フリースクール事業

○フリースクール“ぼはっく”

【目 標】

石巻市の不登校生徒全員に居場所がある状態にすることを5ヶ年計画に掲げ、本年度は渡波中学校区の不登校生徒全員に居場所がある状態にする。

つながりのある5校（3校+河南東中、石巻中）と連携体制を構築する。

- ・開催日数 95回
- ・目標登録者数と来所人数 登録者数：16名(+新規4名) 平均利用人数：8名 延570名

【事業内容】

- ・石巻での連携体制づくり
市教委や各教育機関との関係構築/専門機関(児童相談所、虐待防止センター、SSW)との連携
民間団体との連携
- ・環境整備
利用者案内の作成/子ども会議/居室の整備
- ・体制づくり
ボランティア1名、地域の協力者3名
スタッフスキル向上(研修、視察)
- ・イベント ぼはっく合宿/お泊り会/月一回のイベント企画

◆地域・民間団体との連携事業

○石巻のプレーパークと子どもの遊びを考える会

【目 標】

7年後までに、石巻市内13か所の子どもの居場所（児童館、プレーパーク）設置を目標に、構成団体や地域住民と連携して、新規プレーパーク開設サポートを行うと同時に、まちづくり懇談会では“移動式プレーパーク事業と放課後子ども教室の一体型居場所づくり”を提案し、子どもの居場所を増やす取り組みを行う。

【事業内容】

- ・組織体制づくり 役員会議 月1回程度
- ・地域住民の意識調査（焚き火の会4回、既存の子どもの居場所3か所）、報告書作成
- ・住民プレイワーカー育成（プレーパーク視察、プレイワーク講座）
- ・まちづくり懇談会での提案と意見交換会 2回
- ・新規プレーパーク開設・運営サポート 2か所

○多様な学びを共につくる・みやぎネットワーク

【目 標】

「教育機会確保法の理念を基に、宮城県内の民間の団体・教育委員会・行政などのネットワークを構築し、子どもが選択できる多様な居場所が保障される地域社会をつくる」を目的に、不登校支援団体が連携し、行政と協働を図るための体制づくりをおこなう。

【事業内容】

- ・ 定例会議 月1回程度（総会、事業計画、資金調達）
- ・ 研修会(教育機会確保法、先進事例検討会、フリースクール運営方法など)
- ・ 調査活動(当事者の意識アンケート)
- ・ 交流イベント（県内フリースクールや居場所に在籍する子ども同士の交流）
- ・ 情報の共有と発信（ホームページ、ブログ、フェイスブック等）
- ・ 行政との懇談会

○渡中学区WW I (わっしょい渡波委員会)

【目 標】

渡波中学校区(小学校2校、中学校1校)のPTAや民生委員、社会福祉協議会などと「地域の子どもは地域で見守り育てる」を合言葉に、任意団体として地域貢献活動を推進していく。

【事業内容】

- ・ 定例会議 月1回程度
- ・ 地域活動、地域防災への取り組みへの協力
渡波中学校区 地区防災新体制へのサポート
渡波中学校生徒企画 廃品回収事業へのサポート
学校PTA対抗ビニールバレー大会 など

○黄金浜げんき会

【目 標】

黄金浜自治会と子ども会、民間団体とで発足した地域活動推進を目的に活動する。今年度は、地区行事に加え、夏祭りを協働で企画し、地域交流を通じてコミュニティを再構築する。

【事業内容】

- ・ 地域活動のサポート
町内ゴミ拾い活動/敬老会/海岸清掃活動&BBQ など
- ・ 協働企画事業
黄金浜夏祭り（会場：プレーパークわたのは）

②子育てサポート事業

◆プレーパーク事業

- 未就学児あそび場“のびちび”

【目 標】

プレーパークわたのはを拠点に「遊びの大切さ」「プレイワーク」を伝え、また、子育てで孤立した親子を減らす。地域の子どもを見守る当事者となる地域住民を増やす。環境整備や情報発信、スタッフのスキル向上を行い、子育て中の親子が利用しやすい地域の居場所づくりを行う。

- ・開催数 145回
- ・来所人数 子ども延2,000名 大人延1,500名 合計 延3,500人 平均10組/回
- ・新規親子30組

【事業内容】

- ・のびちびカフェ 12回
- ・ワークショップ 6回（子育てワークショップ、料理教室、読み聞かせなど）
- ・環境整備
アースオープンの再稼働/地域住民が来所しやすい環境づくり
- ・スタッフ研修
子育て支援施設の見学（らいつ、ベビースマイル）/遊びの作用の学習、伝達スキルの習得
- ・あそびの出前 6回/年（中央地区、万石浦地区、湊地区など）
- ・広報：月間スケジュール900部 12回/年、のびちびカフェ、あそびの出前

◆子育て相談

【目 標】

本会の事業すべてにおいて子育て相談を受け入れ、子育て(不登校も含む)で悩む保護者の心のケアを行う。

- ・相談件数 150件

【事業内容】

- ・プレーパークでの「ながら相談」
- ・電話（専用電話あり）/面談での相談
- ・記録作成

③自然体験プログラム事業

◆Ecoキャンプ“自然とともに”（未定）

森や海で電気・ガス・水道のないサバイバル生活を通して「生きる力」を育む

【開催回数】1回/年（夏季 子ども対象2泊3日）

【開催地】未定

④社会体験プログラムに関する事業

活動予定なし

⑤前各号に掲げる活動の推進を図るための啓発及び情報発信と人材育成事業

- ◆啓発事業（講座/研修）

楽々コミュニケーション（前CSP）講座(教員、子育て支援団体向け) / 外遊びの大切さ講座 / 愛着形成がもたらす親子関係（仮称） / プレーパークのつくり方 / 活動報告会（石巻）2回 / 「見立て」事例検討会（毎月1回・再開） / プレイワーク講座(2日間/1回) など

◆情報発信事業

会報誌「だん子むし」500部発行 / こどばにー映像「みんな～おいで～(地域向け)」「こどもみらいず(行政・寄付者向け)」拡散 / プレーパークわたのはパンフレット配布 / SNS配信（Facebook、Instagram、ツイッター、ブログ1回/週） / 「ひがこー新聞」月1回 / プレーパークわたのは月間スケジュール 月1回など

◆人材育成事業

○事業スキル向上のためのスタッフ研修

プレーパーク視察（2泊3日 関東方面 スタッフ3～4名）
フリースクール視察（2泊3日 関東～東北 スタッフ3名）
プレイワーカーインターン（6か月間 7回程度 講師：一般社団法人プレイワーカーズ）
プレイワーカー研修（3日間 講師：嶋村仁志）
カウンセリング（年6回1名）

○組織運営のためのスタッフ研修

認定NPO法人化に関する研修・視察
資金調達関係 など

○外部人材育成

ボランティア（市内高校生、市内在住の大学生、県外）
インターン受け入れ（NPO留学）
視察受け入れ など

⑥その他、本会の目的を達成するために必要な事業

◆主たる活動地域内

渡波小学校評議委員会年3回 / 渡波中学校区協働教育協議委員会年3回

◆石巻市内

NPO法人こどもにやさしいまちづくり理事 年3回程度 / らいつコンソーシアム協議委員年3回
NPO法人にじいろクレヨン理事 年4回 / いしのまき会議理事 年7回程度

◆組織基盤強化

資金調達プロジェクト（寄付、賛助会員の呼びかけと管理） / 認定NPO法人化準備

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日	実施予所	従事者名	受益者	事業費(円)
①すべての子どものための居場所(あそび場)に関する事業	プレーパーク事業 ・プレーパークわたのは ・鹿妻プレーパークひがこー ・新規プレーパーク開設サポート(2か所)	金・土・日曜 水曜 各月1回	渡波 鹿妻 沢田・牡鹿	佐藤・田中・千葉 千葉・平井 田中・佐藤	幼児 ～高校生 延5,270人 地域住民 延1,875人 (305回)	13,632,000
	フリースクール事業 ・フリースクールぼはっく	火・木曜	鹿妻 石巻市内	千葉・佐藤 田中		
	地域連携・ネットワーク事業 ・石巻のプレーパークと子どもの遊びを考える会 ・多様な学びを共につくる・みやぎネットワーク ・渡中学区WWI ・黄金浜げんき会	15回/年 15回/年 15回/年 7回/年	 宮城県内	 田中・千葉 田中・佐藤 佐藤・田中		
②子育てサポート事業	・未就学児あそび場「のびちび」 ・子育て相談	火・木・金曜 火・木～日	渡波 石巻市内	塩田・平井 田中・塩田	乳幼児 ～大人 延3,500人 150件	5,016,000
③自然体験プログラム事業	・Ecoキャンプ“自然とともに” 学童以上対象	未定	未定	田中・千葉		221,000
④社会体験プログラム事業	※活動予定なし	-	-	-	-	-
⑤前各号に掲げる活動の推進を図るための啓発及び情報発信と人材育成事業	啓発事業 ・楽々コミュニケーション講座 ・外遊びの大切さ講座 ・活動報告会 ・プレイワーク講座	年2回 年3回 年10回 年1回	石巻市内 及びその 他の地区	田中 田中 全スタッフ 田中	-	4,267,000
	情報発信事業 ・会報誌「だんごむし」 ・こどばにー映像2本拡散 ・ホームページ ・ブログ ・Facebook / ・Instagram ・ツイッター ・告知チラシ(2種他)	年4回 随時 月1回更新 月4本 随時 随時 月1回程度	-	全スタッフ	-	
	人材育成事業 ・事業スキル向上研修 ・組織運営のための研修 ・外部人材育成	随時 随時 随時	石巻市内 及びその 他の地区	全スタッフ	-	
⑥その他、本会の目的を達成するために必要な事業	・主たる活動地域内での委員や事務局業務	随時	渡波・鹿妻	田中	-	882,000
	・石巻市内における委員や役員	随時	石巻市内	田中		

3 事業実施体制

(1) 会議に関する事項

理事会の開催（年4回他必要に応じて開催）

(2) 運営体制

運営に関わるスタッフは以下の通り。

代表：田中雅子

常勤スタッフ：榎谷和子(事務局長)、塩田恵利子(未就学担当、相談員/2020年6月より復帰)、

千葉拓己(フリースクール、プレーパーク担当)

佐藤和幸(プレーパーク、フリースクール担当)

非常勤スタッフ：平井希美枝（未就学、広報担当）、事務員1名

アルバイト：プレイワーカー1名

(3) 会員

【2020年度目標】

①正会員 16名(+2名)

②賛助会 140名(+100名)

③子ども会員 0名

(4) ボランティア（県内の高校生・大学生を中心に受け入れ）：20名

(5) 地域社会や他団体との連携について

石巻市福祉部子育て支援課、石巻市都市計画課、宮城県東部児童相談所、虐待防止センター、

石巻市社会福祉協議会、石巻市立渡波小学校、石巻市鹿妻小学校、石巻市渡波中学校、

公益社団法人3.11みらいサポート、NPO法人ベビースマイル石巻、NPO法人TEDIC、

NPO法人にじいろクレヨン、NPO法人こどもにやさしいまちづくり、一般社団法人プレイワーカーズ

など連携団体は多数

以上